

(様式第1号)

研究No (記載不要)	16 - デ - 9
----------------	------------

平成16年度配分 研究成果の概要

研究名	欧米 ポスター100に関する研究				
配分を受けた 特別研究費	デザイン学部長特別研究費 3000 千円				
研究者氏名 (代表者)	学部名	学科名	職	氏名	共同研究の 場合の分担
	デザイン学部	生産造形学科	助教授	佐井国夫	研究総括
共同 研究 者	デザイン学部	生産造形学科	教授	迫田幸雄	資料検討
	デザイン学部	生産造形学科	教授	黒田宏治	資料検討
	デザイン学部	生産造形学科	助教授	迫秀樹	資料検討
	デザイン学部	空間造形学科	教授	渡邊章互	調査・資料収集・ その他
発表の方法 (予定で可)	1 紀要		号数	第 ( 年 月 号 ) ( 発行 )	
	2 学会等での発表 学会等名:		発表日 (発表 予定日)	平成 年 月 日	
	3 その他:発表の方法: 1) ポスター一部学内展示(3階ロビー) 2) SUAC文化芸術センター展示予定 3) 解説パンフレットを作成		発表日 (発表 予定日)	1) 平成17年3月 2) 平成18年1月 3) 平成18年1月	

注:配分を受けた翌年度の6月末までに提出

(研究の目的等)

ポスターは、現代社会のデザイン活動の重要な1側面を形成し、その時代性を表し同時に未来の感性をもたらしてくれる現代芸術の1つである。

当大学に、欧米のデザイナーを含む秀作ポスター100点が元千葉大学の中村次男教授より寄贈された。そのポスターは平面工房の段ボール箱に入ったままになっている。このままにして置くと汚れや破損等が考えられるし、その文化的な価値を活かすことができない。ついては、この100点のポスターを活用することについて研究する。

(研究の実施方法等)

- 1) 100枚のポスターをアクリルカバーのついた展示用パネルに納めた。
- 2) 100枚のポスター展示用パネルのそれぞれの大きさに合わせ、収納用ケース×3個に納めた。
- 3) 100枚のポスターについて解説を加えた。
- 4) 日本の近代デザインポスターを追加超査収衆(貴重ポスター役5点)
- 5) ポスターの一部を学内展示(3階ロビー)
- 6) 100枚のポスターの展示のために、解説の中から抜粋して戦後ポスターの歴史資料(パンフレット)を作成し。

(得られた成果等)

- 1) 静岡文化芸術大学のコレクションの一つとして、その文化的な価値を活かす事ができた。
- 2) 学内の展示により、情報発信ができた。
- 3) パワーポイント等のメディアを活かし、グラフィックデザイン演習の教材の一部として授業等に活用する事ができる。